

**International General Certificate of Secondary Education
CAMBRIDGE INTERNATIONAL EXAMINATIONS**

FIRST LANGUAGE JAPANESE

PAPER 2 Reading and Directed Writing

0507/2

MAY/JUNE SESSION 2002

2 hours 15 minutes

Candidates answer on the enclosed answer booklet.
No additional materials are required.

TIME 2 hours 15 minutes

INSTRUCTIONS TO CANDIDATES

Write your name, Centre number and candidate number in the spaces provided on the answer booklet.

Answer **all** questions.

Write your answers on the separate answer booklet provided.

INFORMATION FOR CANDIDATES

The number of marks is given in brackets [] at the end of each question or part question.

受験生への諸注意

解答用紙の該当欄に、氏名・センター番号・受験番号を記入しなさい。

すべての問題に答えなさい。

解答は、解答用紙の解答欄に記入しなさい。

受験生への補足説明

各設問の最後の [] 内が、各々の配点である。

This question paper consists of 6 printed pages, 2 blank pages and an inserted answer booklet.



パート1

次の[A] [B]の二つの文章を読んで、後の問いに答えなさい。

[A]

東京の知り合い宅の集まりで、二十代半ばの、^{りゅうたう}流暢な日本語を話すアメリカ女性に出会った。帰りの電車で一緒になったのできいてみると、子供のころ日本で育ち、十代でアメリカに戻ってから、たびたび来日することがあったという。そして、二十代になってから今度はひとりで来て、二年ほどの滞在を終えて、もうシアトルに戻る決心をしたばかりだった。「今までは、いつも自分の一部を日本に置いて帰るとい気がしていたの。でも、今回は、自分を全部連れて帰れると思う。」 1 5

ほんの短い出会いだったのだが、電車を下りる間際の彼女の言葉が耳に残った。置いてきた自分を連れて帰る……………。

トムも、「置いてきた自分」を探しに日本に戻ったひとりだろう。トム、と呼ばれているが、実際ご両親はどちらも日本人だし、やせてめがねをかけた容姿も日本人だ。小学校から大学まで、十五年間アメリカで過ごした彼は、二十代に入ってから日本に戻り、大学に入り直した後、就職したのだ。 10

ではなぜ日本に戻って来たのだろうか？ 海外に出たいという気持ちが強かった私は、逆に不思議に思った。トムにきくと、「自分はアメリカ人になりすぎてしまった」と思って日本に戻る決心をしたという。日本に「置いてきた自分」に出会うためなのか。 15

世界のどこかに自分の一部、またはもうひとりの自分がある。それが「置いてきた自分」の感覚なのだろうか？ その部分がないと満たされない、自分というひとりが統合されないような感覚。それをつれて帰ることができる。ある意味で気がすんだと思えるようになるプロセスを踏んで、自分の居場所が決まるものなのだろうか？ その意味でいえば、海外に「いるはずの自分」を求めて飛び出すケースもある。私のようにずっと日本で生活してきた人が、二十代や三十代になって海外へ出るケースが増えていると思う。ただどこかにいるはずの自分を探すどころか、「連れてきたはずの自分」もどこにいるのか分からなくなり、迷子になってしまうこともある。私の親友の言葉を思い出す。「人生とは、どこで生きるかではなく、どう生きるかです。」 20

[B]

野間寅雄^{しゅうお}は少年のころから剣術をまなんだ。 剣術教師が舌をまくほどの天分があった。 寅雄は東京府においては群をぬいて最強になった。 しかし、昭和天覧試合の最強定戦で、以外にも相手に二本ともとられてやぶれ、失格した。 その後、寅雄は養家の野間家を出て、森姓にもどり、森寅雄になった。 森寅雄は同時に日本からも脱出した。

サンフランシスコに着いた。 アメリカにきたからといって、べつに就職のあてはない。 最初、日本人が経営するオレンジ園で、農夫として働いた。 その後、転々とした。 その間、剣だけが身についた技術のこの天才にとって日本の剣術がわすれられなかったらしく、師匠も稽古相手もないまま、棒を削って、木刀をつくり、農園の片すみでそれを使い、ひそかにわざを工夫した。 白人の友人で、ダニエル・ソーンという親切な男と知り合ったことが、彼の転機になった。 「アメリカにも、よく似たものがある。 フェンシングというのだ」と、ソーンは教えた。 寅雄は手引書でフェンシングを勉強した。 一、二年後にはロスアンゼルス選手権大会に出場して優勝し、ひきつづき全米大会に出て優勝した。

だが、戦争になる。 昭和16年から収容所ぐらしである。 彼にとって、収容所生活は東西二つの剣術についての思念を深めることに役立った。 「私はアメリカにきて、術を離れた。 離れてかえって道を知った」と彼は晩年よく言った。 「私はアメリカにきて、日本人として孤独になることにより、かえって武士道を知った。 あのまま日本におれば武士道がどういうものであるかを知らなかったかも知れない」とも言っている。

戦争後、日本へ旅行した。 帰米して、彼は日本がすでになくなってしまったことをつくづく思った。 日本がなくなった以上、彼は自分自身が日本になろうとした。 それには剣の道のみがいてそれを残す以外にないと思っただけでなく、彼はそれをアメリカで残そうとした。 「アメリカ剣道連盟」というものを興し、その会長になった。

森寅雄は、きわめて唐突^{とつとつ}に世を去った。 彼は門人に居合術を教えている最中、剣を抜いたままの姿勢でたおれた。 片頬に微笑を浮かべたまま死んでいたという。 その生涯は、ひどく生きづらいものだったらしいが、最後がきた瞬間における彼自身の採点では、満足なものであったのかもしれない。

司馬遼太郎 「会話として アメリカの剣客」

- 1 二つの文章を読んで、それぞれの筆者の見方、考え方について、思うことやあなた
考えを600字程度でまとめなさい。

[20]

パート2

- 2 見学したい施設にあてて、見学したい理由を述べ、都合を問い合わせる手紙を600
字程度で書きなさい

[20]

パート3

問 次の文を読んでア～エのうちもっとも適当なものを選びなさい。

- 3 校長の（ア 変わり イ 代わり ウ 替わり エ 換わり）に会議に出席した。 [1]
- 4 荷物の重さを（ア 図ったら イ 計ったら ウ 測ったら エ 量ったら）50キロもあった。 [1]
- 5 国民は法の（ア 本 イ 元 ウ 下 エ 基）に平等である。 [1]
- 6 時間が（ア 空いた イ 開いた ウ 明いた エ 飽いた）ので映画を見た。 [1]
- 7 その国は若い国王が（ア 収めて イ 納めて ウ 治めて エ 修めて）いる。 [1]

問 次の8～12の漢字に共通する部分を補い、一つの熟語を完成して解答欄に書きなさい。

（例） 月 音 明暗

- 8 早 化 [1]
- 9 直 木 [1]
- 10 矢 広 [1]
- 11 毎 羊 [1]
- 12 音 十 [1]

BLANK PAGE

BLANK PAGE